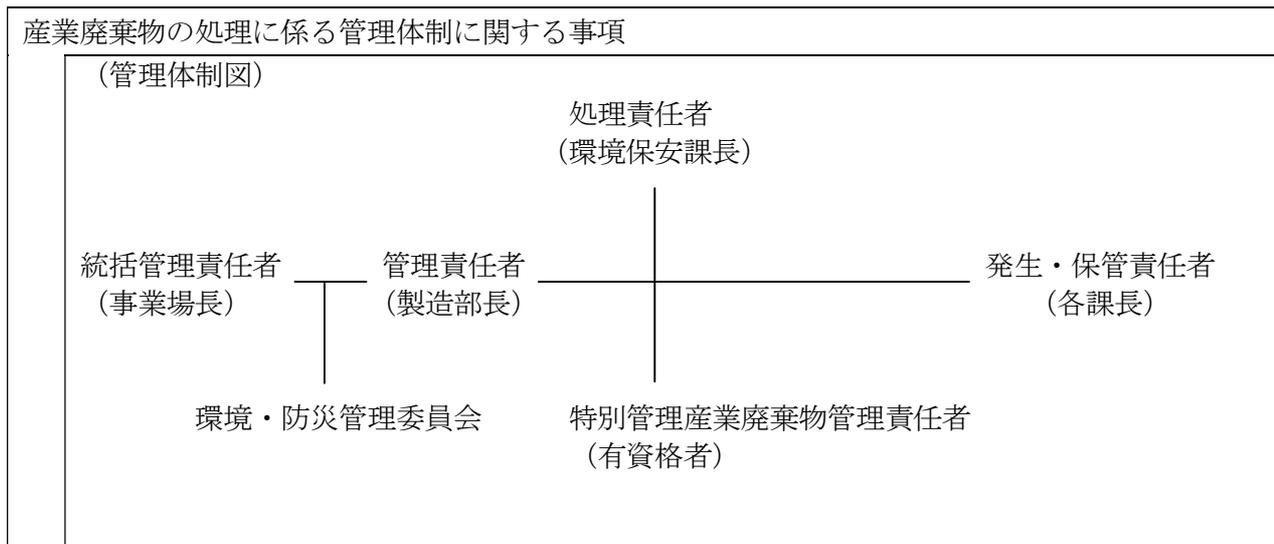


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2018年 6月25日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県東海市新宝町31番6	
氏 名 東レ・デュポン株式会社東海事業場 東海事業場長 岡橋 正和	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-603-5181	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東レ・デュポン株式会社 東海事業場
事業場の所在地	愛知県東海市新宝町31番6
計画期間	2018年4月1日～2019年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	18：プラスチック製品製造業 11：繊維工業
② 事業の規模	製品出荷額：12,773百万円
③ 従業員数	261名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p><製品製造に伴う廃棄物></p> <p>A. 廃プラスチック類：再生利用業者に委託して主にRPFとして再資源化する他、生産維持のため一時的に埋立処分する。</p> <p>B. 廃油：主に再生利用業者に委託して燃料として再資源化。他は焼却後、セメント原料もしくは埋立処分</p> <p>C. ガラス陶磁器くず：再生利用業者に委託して、路盤材として再資源化</p> <p>D. 汚泥：再生利用業者に委託して路盤材として再資源化。他は焼却後、埋立処分</p> <p><製品出荷に伴う廃棄物></p> <p>A. 木くず：再生利用業者に委託して、チップとして再資源化</p>

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2017年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) (1) 工程安定化、収率改善 (2) 液体廃棄物の発生過程で排水処理できるものは排水としてし、発生量を抑制した。 (3) 工程副生油を燃料とするボイラーを設置、安定化させた。 (4) パレットを洗浄し、使用回数を増加させた。		
② 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (1) 引き続き工程安定化、収率改善に取り組む。 (2) ボイラー稼働を安定稼働させる。 (3) フィルムロール屑を有価物として販売する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類別に分別を行い、更に廃プラスチック類は再生処分別に分別し、保管している。
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 予定なし(現在の取り組みを継続)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2017年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
② 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2017年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実績なし			
② 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2017年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
② 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2017年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) (1) 廃棄物の再生利用、熱回収に主眼をおき、再生利用業者及び熱回収を行う業者へ委託処理を行い、最終処分量の低減を進めてきた。 (2) 委託処分先を複数化し、リスク分散に努めてきた。 (3) 委託契約前や委託後に定期的に現地点検を行い、適正処理できていることの確認や不備な点があれば改善を提言している。		

③ 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>(1) 県内廃棄物処分業者の廃業及び国内での廃プラスチック量が増加している状況から、やむなく埋め立て処分を強いられている。この廃棄物について、再生利用や熱回収できる処分先を探索し、最終処分量の低減を進める。</p> <p>(2) 処理先に優良認定処理業者や認定熱回収業者を認証するように働きかける。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

項 目			産業廃棄物の種類										
			廃プラスチック類	廃油	木くず	汚泥	ガラス 陶磁器クズ	廃アルカリ					合計
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	659.0	706.2	20.9	0.7	0.7	23.6					1411.1
		②計画(目標)	696.0	651.0	15.0	6.0	1.0	18.0					1387.0
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に 関する事項	処分量	①現状	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	659.0	706.2	20.9	0.7	0.7	23.6					1411.1
		②計画(目標)	696.0	651.0	15.0	6.0	1.0	18.0					1387.0
	優良認定業者への 処理委託量	①現状(前年度)	392.3	706.2	0.0	0.7	0.0	23.6					1122.8
		②計画(目標)	627.0	651.0	0.0	6.0	0.0	18.0					1302.0
	再生利用業者への 処理委託量	①現状(前年度)	266.7	0.0	20.9	0.0	0.7	0.0					288.3
		②計画(目標)	69.0	0.0	15.0	0.0	1.0	0.0					85.0
	認定熱回収業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
	認定以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	①現状(前年度)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
		②計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0

※現状(前年度):平成29年度実績です。